

こども通所サービス

さくら

支援プログラム

児童発達支援



作成日：2025年2月1日

理念

素敵な笑顔 感謝の心



— たくさんの笑顔あふれる時間を —

支援方針

家庭的な明るい雰囲気の中で、お子様が安心して楽しい時間を過ごしながら、コミュニケーション能力の向上や社会性の大切さを伝えます。こども一人ひとりの状態に合わせて将来、自立して日常生活を送ることができるよう支援を行います。

営業時間

月～金

9:00～19:00

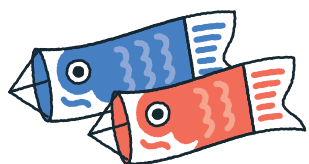
送迎実施の有無

あり

土・長期休暇

8:00～19:00

主な行事等



- ・校外学習（公園・散歩・お買い物学習・施設見学(体験)・初詣など）
- ・季節の行事（**春** お花やこいのぼり等を見に行く / **夏** 水遊び・遠足）
（**秋** ハロウィン / **冬** クリスマス会・節分・初詣・遠足）
- ・毎月の製作等・避難訓練



児童発達 支援

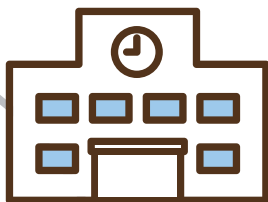
「支援」を行う環境は「発達支援（本人支援・移行支援）」
「家族支援」「地域支援」からなり、
日常生活や社会生活のために総合的に支援を行います。



発達支援

本人支援

移行支援



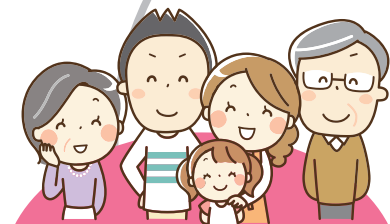
移行 支援

保育園や幼稚園と事業所等での送迎時の様子や普段の状態、健康状態等を常に情報共有をしていきます。

家族 支援

ご家庭での生活や様子を伺いながら共通理解を図り、心配事や困りごとに対してご家庭でも実践できるような環境作りや関わり方の工夫などを支援していきます。

いつでも相談できるような環境を整えます。

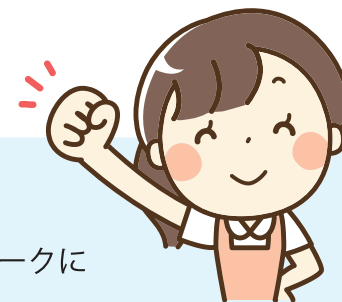
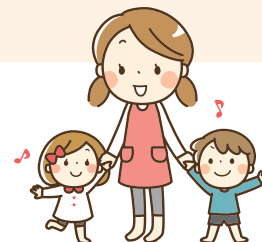


家族支援

地域支援 (地域連携)

地域 支援

事業所、相談支援員、その他の関係機関と連携しながら情報共有をしていき連携を図っていきます。



職員の質の向上

- 外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。
- 職員同士コミュニケーションをしっかりと取り、モチベーションアップやチームワークにつなげていきます

児童発達 支援

「発達支援（本人支援）」のうちお子さまの成長発達に関わる領域を、児童発達支援と放課後デイサービスガイドラインでは『5領域』に分けられています。さくらでは、5領域それぞれに必要な支援を行ってまいります。



健康・生活

- 一人ひとりの健康状態を把握しながら安心して過ごせる場所を提供します。
- 食事、排泄、着脱等の基本的な生活習慣をスモールステップで獲得出来るように支援します。

運動・感覚

- 個々の感覚の特性を生かし、遊びを通して様々な感覚に触れる事で成長したり五感を活用したり出来る様に支援します。
- 日常生活に必要な身体の動作、移動や姿勢保持等を遊びを通して定着できるように支援します。

認知・行動

- 個々の感覚特性に配慮した環境設定をしていきます。
- 様々な活動や基本的な生活習慣を獲得していく中で、概念の形成につながる様な機会を作り支援します。
- 自分の気持ちや行動に対しての理解を促しながら自己表現できるように支援を行い、集団活動にもつなげていきます。

言語・コミュニケーション

- コミュニケーションの手段として、絵カードや身振り、表情や動きなどを活用していきます。
- 挨拶や会話、聞く、話すなどのコミュニケーションの基盤を作っていきます。
- 自分の気持ちを伝える、受け止めてもらえる等の経験をしていく事で、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援します。
- 生活の中で発声や発語を引き出したり促したりしていきながら言葉が身につけて行けるように支援します。

人間関係・社会性

- 安心して他者との関わりが持てる様な環境を作ることで、楽しさが感じられ愛着の形成が図られるようにしていきます。
- 活動や遊びの中で順番やルールなどを通して社会性を広げる支援していきます。
- 色々な自分の感情や気持ちに気づくとともに、気持ちのコントロールができる方法を考えて見つけていき、安心して他者と関わる事が出来るように支援します。